



錦林小学校

NEWS LETTER

令和8年度10月
(アンケート結果)

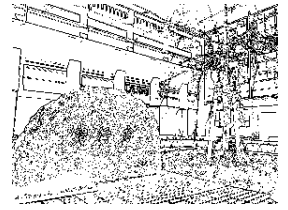
京都市立錦林小学校

606-8322 京都市左京区岡崎入江町1-1

TEL : 075-771-0921

FAX : 075-771-3622

E-mail : kinrin-s@edu.city.kyoto.jp



子どものためのアンケート（1回目）結果のお知らせ

保護者の皆様には、「子どものためのアンケート」（7月実施）にご協力いただきありがとうございました。保護者の皆様や児童へのアンケートの結果、いただいたご意見、教職員の振り返りをふまえ、継続する取組や改善していくべきところを全教職員で共有し、保護者・地域の皆様と共に今後の錦林小学校の教育活動に生かしていきたいと考えております。

それぞれの質問の項目について、児童・保護者・教職員の立場で回答できるようにしています。質問の文言は多少異なりますが、同じことがらについて、3者（児童・保護者・教職員）の意識におけるずれの有無がわかるようにするためです。

「よくできている」「だいたいできている」と肯定的に回答されている割合を「%」で表しています。

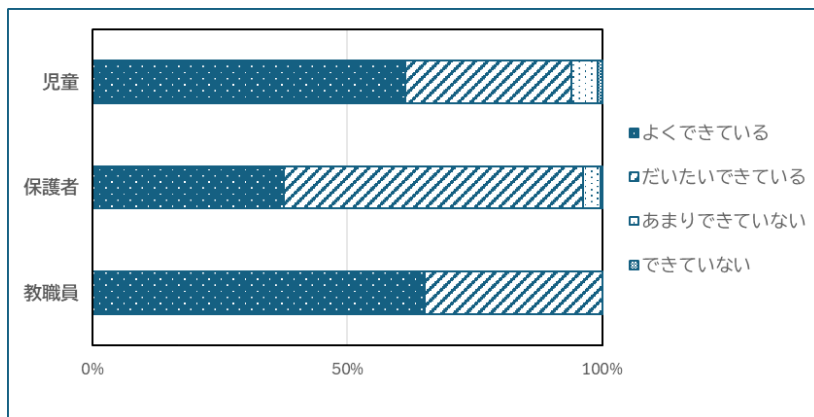
質問項目	児童	保護者	教職員
子ども一人一人を大切にした教育を進めている	97	97	100
授業が分かりやすい（確かな学力をつけるために分かりやすい授業づくりに努めている）	93	97	100
地域のことを調べたり、学習したりすることが好きである（地域の特色を生かした学びを進めている）	78	96	91
意欲的に学習に取り組んでいる	94	88	100
進んで本を読んでいる	79	62	96
宿題などの家庭学習に取り組んでいる	94	89	100
分からないこと、困ったことなどを相談しやすい	77	89	100
楽しく登校できている	94	96	100
進んであいさつできている	90	85	96
人を大切にしている	97	94	100
自分のよいところやがんばっていることが言える（よさやがんばりを認め褒めている）	76	90	100
生活のルールを守っている	95	89	100
時間を守って生活できている	90	82	100
「すべきこと」「してはいけないこと」についてしっかり考え、適切に判断できている	93	87	100
がんばることを見つけて努力・挑戦している （「なりたい自分」「将来の夢」の実現に向けて努力している）	92	70	100

授業がわかりやすい

肯定的な回答を多くいただいております、子ども達が「分かった」「できた」と感じられる授業づくりが進んでいることが伺えました。学年の発達段階に応じて ICT 機器の活用や友達と考えを伝え合う活動を取り入れながら、学びを深められる授業づくりを進めてきた成果の一端であると考えています。

一方で、児童の肯定的な回答は昨年度と比べてやや低下しており、すべての子どもが十分に学びを実感できているとは言えない状況も見られます。今後は、学習の振り返りを充実させ、自分の成長やできるようになったことに気付ける機会を増やしていきます。また、一人一人の理解に応じた支援を工夫したり、学習に応じて体験的な活動を取り入れたり、自分で学びの方法を選んだりできる時間を設けて意欲的に参加できる授業の工夫を進めていきます。

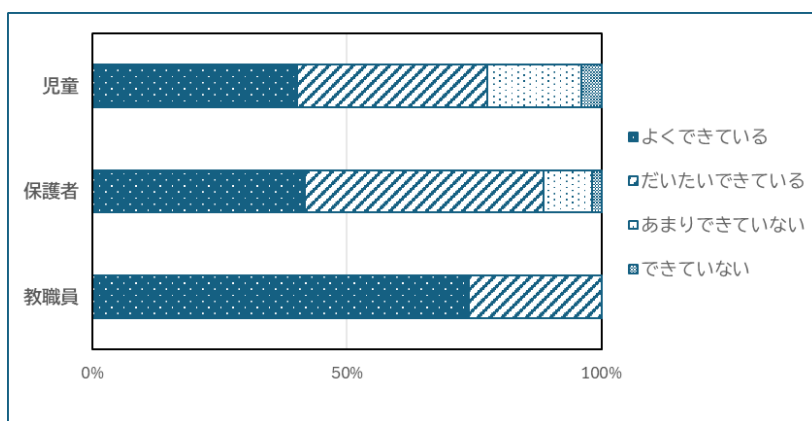
これまでと同様、授業の様子や学習内容をホームページ等で発信し、家庭での声掛けや対話につなげていただけるよう努めていきます。子ども達が学ぶ楽しさや達成感を感じ、自信をもって学習に取り組めるよう、ご家庭とともに成長を支えていきます。



分からないこと、困ったことを相談しやすい

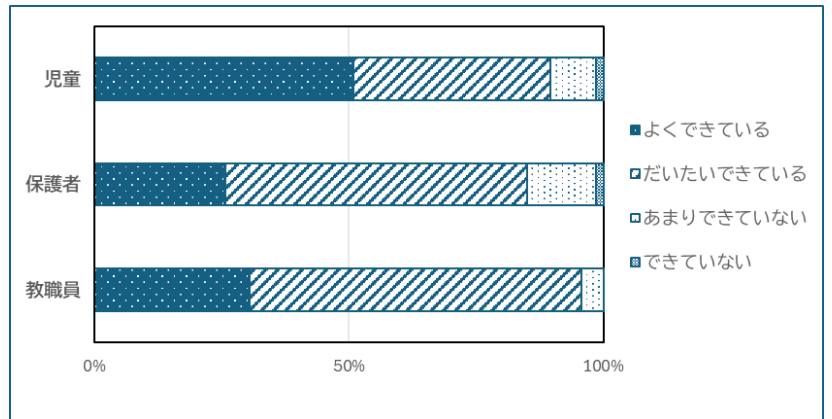
保護者の皆様からは肯定的な回答を多くいただいている一方で、子ども達の中には、困ったときや悩みがあるときに、十分に相談しやすさを感じることができていない様子も伺えました。この結果から、教職員との関わりの中で安心感をもつことができている子どもが多く見られるものの、さらに相談しやすい環境づくりを進めていく必要があることが分かりました。

子ども達が安心して気持ちや考えを伝えるためには、日々の何気ない関わりや信頼関係の積み重ねが大切であると考えています。教職員が日頃の関わりの中で、子どもの小さな変化やサインに気付ける学校文化を目指していきます。今後も子ども達一人一人の声に丁寧に耳を傾けながら、気軽に話したり相談したりできる雰囲気づくりを大切に、子ども達の相談する力を高めていきます。また、友達同士が互いを認め合い、支え合える関係づくりを進めることで、子ども達が自分のよさを実感し、安心して自分らしく過ごせる環境を育んでいきます。



進んであいさつしている

本校では、子ども達が気持ちのよいあいさつを通して、人とのつながりを大切にできるように、日頃からあいさつの習慣づくりに取り組んでいます。児童の肯定的な回答も年々高まっており、学校生活の中であいさつを大切にする意識が育ってきていることが分かりました。さらに、保護者の皆様の肯定的な回答はこれまでで最も高く、子ども達が日頃から進んであいさつする姿や成長を実感していただいていることが伺えます。



あいさつは、人と人との心をつなぎ、安心して学校生活や地域での生活を送るための大切な第一歩です。朝の「おはようございます」や「ありがとう」といった言葉のやり取りは、温かな人間関係づくりにもつながっています。

これからも、日々のあいさつを大切にしながら、子ども達のよさを認め励ましていきます。また、家庭や地域の皆様とともに子ども達の成長を見守りながら、誰にでも気持ちよくあいさつができる子どもの育成を目指してまいります。

【保護者より（PTA アンケート・ご意見・ご感想）】

・小学校で英語教育をすすめているのはなぜですか

これからの子ども達は、多様な文化や価値観をもつ人々と関わりながら生きていく時代を迎えます。英語は、そのような人々とつながり、自分の思いや考えを伝えるための大切なコミュニケーションの手段の一つです。京都市では、「国際都市・京都から世界へ」をビジョンに掲げ、英語を使って自分の考えを表現したり、京都や日本の魅力を発信したりできる子どもの育成を目指しています。英語で伝え合う力を高めるとともに、多様な価値観にふれ、自ら学び続けながら社会や世界に貢献する力を育むことを大切にしています。英語教育は、英語そのものを学ぶだけでなく、未来を生きる力を育てる学びとして進めています。

・子ども達がより意欲的に学べる授業づくりのため、教職員の研修はどのように行われ、日々の授業に活かされているのですか

本校では、「人との関わり・つながりの中で 自分を高める実行力の育成」を教育目標に掲げ、その土台となる「自己肯定感」の育成を大切にしています。そのため教職員は、子ども達が「もっと考えたい」「やってみたい」「できた」と感じられる授業づくりについて、計画的に研修を行っています。授業を互いに参観し、子ども達が意欲的に学ぶ場面や達成感を味わう場面について話し合い、学び合いや主体的な学習を促す工夫を研究しています。

こうした成果を授業に生かすことで、子ども達が安心して自分の考えを表現し、仲間と関わりながら成功体験を積み重ね、自信をもって「考える・決める・実行する力」を育めるよう取り組んでいます。



・学校からもらってくるプリント類（宿題プリント、保護者宛のおたよりなど）の整理が難しいなと思います。

保護者の皆様へのお知らせについて、内容に応じて配付方法を工夫しています。学校から必ずご確認ください連絡事項については、紙面での配付に加え、できる限り「すぐーる」による配信も活用しています。また、教育委員会や関係機関からのお知らせ、各種イベントの案内などについては、内容に応じて配付しております。配付物が多い時期には、整理することが難しい場合もあるかと思います。学校では、連絡袋等を活用しながら、必要なプリントを確実に保護者の方に届けられるよう指導しています。今後も、子ども達が配付物を整理しやすい方法について継続して指導するとともに、ご家庭とも連携しながら支援してまいります。ご理解とご協力をお願いします。

・地域の方々に見守られて登校している様子に有り難く感じています。

子ども達の安全な登下校を支えてくださっている地域の見守り隊の皆様や、一緒に通学路に立って見守りをしてくださっている保護者の皆様には日頃より多大なご協力をいただいております。子ども達が安心して登下校できるのはこうした地域や保護者の皆様の温かい支えがあってこそです。心より感謝申し上げます。今後も皆様と連携しながら、子ども達が安心して学び、健やかに成長できる環境づくりに努めてまいります。

・おかげさまで大切なお友達や先生方と関わって楽しい学校生活を送っています。同学年以外の上の学年の子たちとの関わりも「友達作ったで！」とよく話してくれるのが印象的です。

・日々元気に登校する姿を見て、先生方やお友達にはいつも感謝しかありません。

・失敗も多いですが周りにいる先生や友達に助けられて日々成長してるように家庭では感じます。

・明るく学校に通えていて、学校であった出来事などをずっと喋っています。学校のことを話す子どもの様子を見ていてもあたたかいご指導いただいていることがわかり、大変ありがたく感じています。子どもが立派な大人に成長できるよう、家庭でも頑張っていきたいと思っておりますので、今後どうぞよろしくお願いいたします。

保護者の皆様からいただいた言葉の一つ一つから、子ども達の成長を温かく見守り、支えてくださっているお気持ちが伝わってきました。子ども達が毎日元気に登校し、学校での出来事をうれしそうに話したり、友達や先生との関わりを楽しんだりしている姿は、家庭と学校がともに子ども達を育てている証でもあります。

これからも、子ども達の成長や課題を家庭と学校で共有しながら、互いに手を携えて子ども達の健やかな成長を支えていきたいと考えています。保護者の皆様の温かいご理解とご協力に心より感謝申し上げます。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

